

「防災教育テキスト」を活用した防災教育

学 校 名	光市立光井中学校	実施時間	学級活動
-------	----------	------	------





1 ねらい

- 生徒が災害に対する正しい知識・技能をもとに、的確に状況を判断し、主体的に行動できる「防災対応能力」の向上を図る。
- 子どもたちが自らの命を自ら守るために主体的に行動し、周囲の人や社会の安全に貢献できる力を育成する。
- 参観日に「防災教育テキスト」を活用した授業を行い、生徒と保護者が共に防災意識を高める。

2 事前指導

- ◇ 「家庭で確認！日頃からの備え」を家庭に持ち帰らせ、家族で話し合い、再確認をさせる。
- ◇ 学校での避難場所や生徒引き渡し等を追加項目として明記させる。

3 展開(生徒と保護者が一緒に考えられる場合は一緒に行う。)

学習内容・活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
<p>1 地震・津波の発生メカニズム等について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口県(付近)の活断層 ・ 今後発生が想定される巨大地震 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「防災教育テキスト」を活用し、地震・津波について説明及び確認をする。 【南海トラフ地震】 震度6弱、最大津波高5m 到達時間106分(津波1m) (2014/3/28資料より) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2、3年は学習済みのため、生徒に説明をさせることも可能。 ・ 標高5mではなく、津波の高さが平均海面から最大5mであることを確認する。
<p>2 危険予測学習(KYT)資料を活用し、地震発生時の危険回避方法を考える。</p> <p>室内</p> <ul style="list-style-type: none"> ①居間にいるとき ②火を使っているとき ③エレベーターの中にいるとき <p>屋外</p> <ul style="list-style-type: none"> ④河川や河口にいるとき ⑤山にいるとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危険箇所の発見と対処方法、危険回避の備え等を考えさせる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> ※自分の命を守ること(頭部等の保護)や日頃の備えが重要であることを確認する。 ①頭を保護し、「物が落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に移動する。 ②火元が近いときは火を消す(遠いときは、揺れが収まった後に消す。) ③全ての階を押し、止まったら直ちに降りる。閉じ込められたら、非常ベルや電話のボタンを繰り返し押し、救助を求める。 ④津波に注意し、高台をめざして逃げる(防災無線を聴く。光井小にある屋外拡声局を確認する。) ⑤がけ崩れが起こる可能性があるので、がけから離れる。
<p>3 土砂災害の発生メカニズムや対処方等について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がけ崩れ ・ 土石流 ・ 地滑り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ がけ崩れは地震でも起きるが、土砂災害は主に集中豪雨で発生することを説明をする。 ・ ハザードマップの活用で危険箇所や避難場所の確認ができることを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年、山口県でも局地的な大雨が発生していることを伝える。 H26年：広島県、岩国市・和木町 H25年：萩市・山口市 ※ハザードマップはあくまでも目安であり、想定外が起こる可能性があることを説明する。
<p>4 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「家庭での確認」を再確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 率先避難者となるよう指導する。 ・ 自分の命を守り抜くために最善を尽くす。 ・ 地域の方々と協力し、避難の呼びかけ、小さい子どもやお年寄り、障害のある方の手助けをする(安全の範囲内)。